

指導資料

鹿児島県総合教育センター

教育課程第15号

— 小学校，盲・聾・養護学校対象 —

平成14年11月発行

これからの学校づくり

—— 学校の自己点検・自己評価 ——

現在，各学校においては，特色ある学校づくりを目指して様々な取組が行われている。その中で，これからの学校づくりの視点として，学校の自己点検・自己評価の在り方が問われるようになってきた。

1 学校づくりと自己点検・自己評価

平成14年3月に文部科学省より「小学校設置基準及び中学校設置基準の制定等について（通知）」が出された。この中で，自己評価等及び情報の積極的な提供に関する規定を設けた趣旨について，次のように述べている。

平成14年度からの新学習指導要領の全面実施や完全学校週5日制の実施等を踏まえ，小学校等が保護者や地域住民等の信頼に応え，家庭や地域と連携協力して一体となって児童生徒の健やかな成長を図っていくためには，教育活動その他の学校運営の状況について自己評価を実施しその結果を公表するとともに，それに基づいて改善を図っていくことが求められる。また，開かれた学校づくりを推進し，学校としての説明責任を果たしていく上で，小学校等が保護者等に対して積極的に情報を提供することが必要である。(以下略)
(下線は筆者加筆，小学校及び中学校のこと)

そして，自己点検・自己評価やその結果の公表は，それぞれの学校や地域の状況等に応じて，適切な方法で行うこととしている。また，その際の留意事項として次のようなことを挙げている。

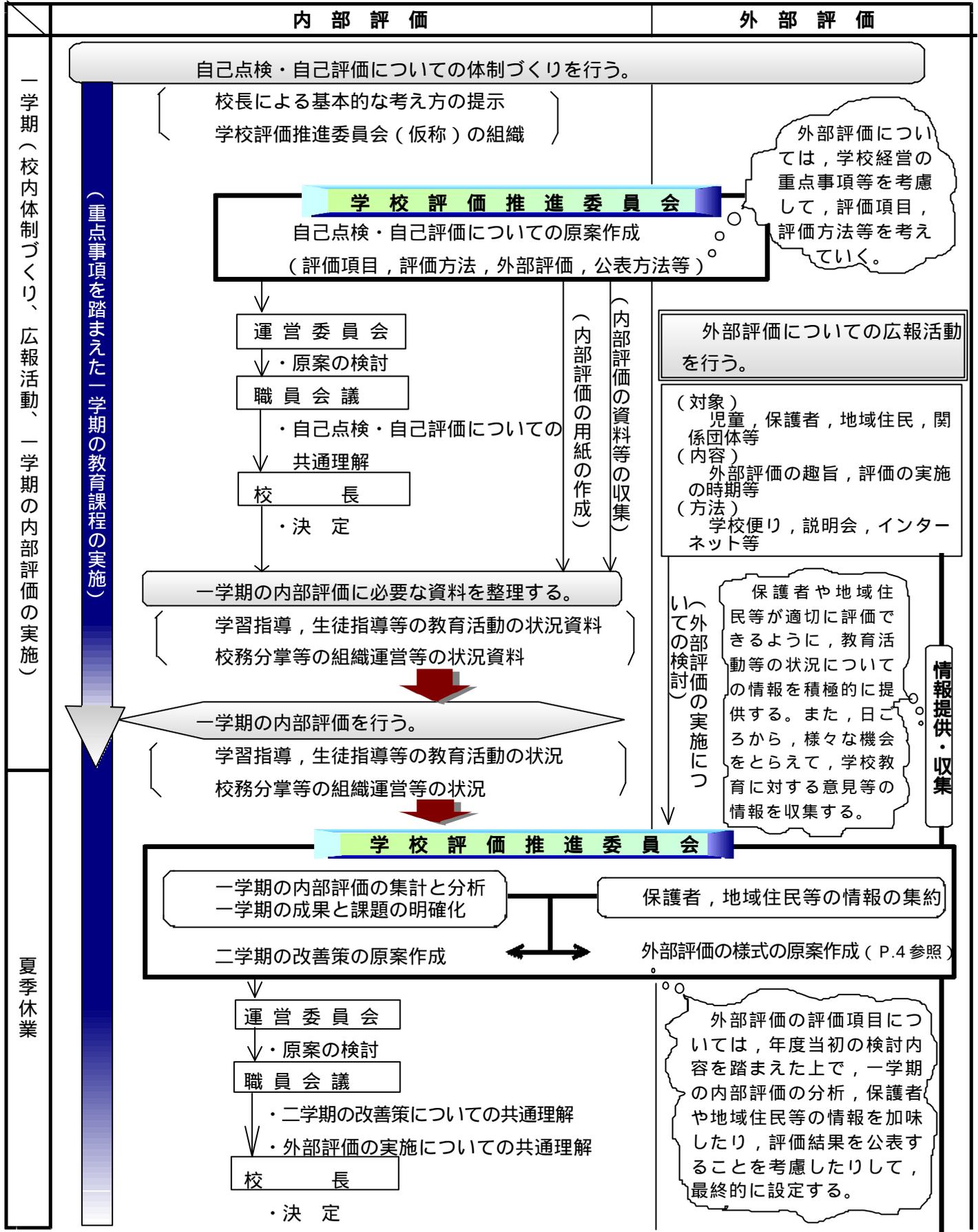
- 学校運営の改善について
- ・ 校長のリーダーシップの下，全教職員により学校全体として評価し，学校運営の改善を図ること。
- 自己評価の実施について
- ・ 対象としては，例えば，学校の教育目標，教育課程，学習指導，生徒指導，進路指導等の教育活動の状況及び成果，校務分掌等の組織運営等
- ・ 学校の教育目標等を踏まえた適切な評価項目による評価
- ・ 年間を通じた計画的な実施
- 評価結果の公表について
- ・ 多くの保護者や地域住民等に公表できるような公表方法の工夫（学校便りの活用や説明会の開催，インターネットの利用など）
- ・ 自己評価だけでなく，保護者や地域住民等を加えた評価の工夫（学校評議員制度の適切な活用）

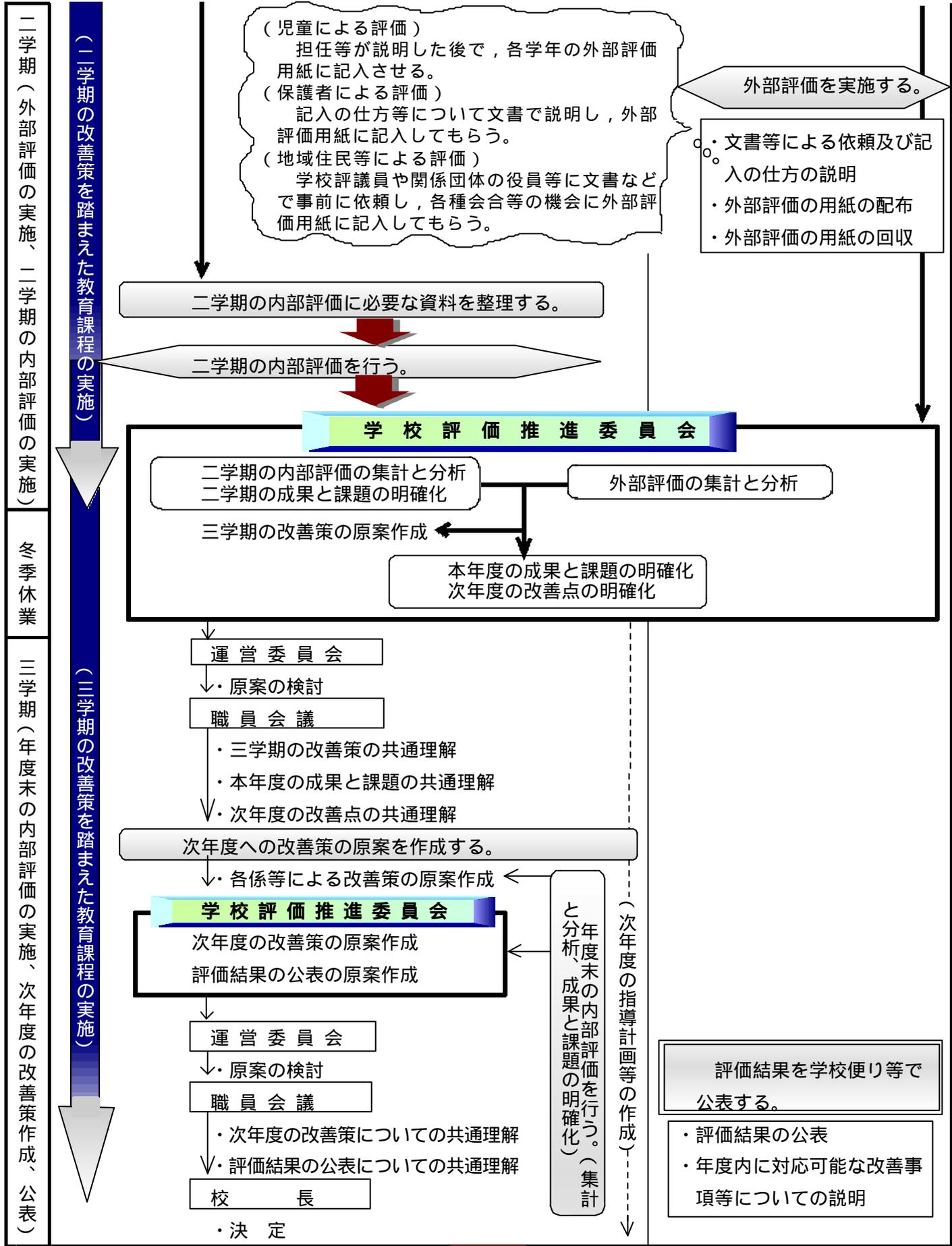
自己点検・自己評価は，これまでも各学校で行われてきた。しかし，保護者や地域住民等による評価やそれらの人々への評価結果の公表に関しては，まだ不十分であった。

保護者や地域住民等の信頼にこたえる学校づくりを進めるために，今後は，これら
のことを重視して，自己点検・自己評価を進める必要がある。

2 自己点検・自己評価の進め方

学校の自己点検・自己評価は、「計画(Plan) 実施(Do) 評価(Check) 行動(Action)」のサイクルで学期ごと及び年間を通じて進める。その際、例えば下図のように、従来から行われている内部評価に加え、保護者や地域住民等による外部評価を適切に位置付け、学校運営の改善を図っていくことが大切である。





年度当初に、保護者や地域住民等に前年度の課題を踏まえた本年度の改善事項等について説明する。

3 自己点検・自己評価の様式例

自己点検・自己評価の様式は、それぞれの学校の状況に応じて、教職員、児童、保護者や地域住民等ごとに作成されるが、ここでは、A小学校が作成した保護者用、地域住民等用の自己点検・自己評価の様式を紹介する。（その他の様式例については、指導資料通巻第1370号を参照）

保護者用

本校の児童の様子や学校の教育活動などについて、4段階で評価をお願いします。
下記の評価項目について、当てはまる番号にしてください。
4（よい） 3（ややよい） 2（やや不十分） 1（不十分）

番号	評価項目	評価
1	学校は、教育方針を分かりやすく伝えてありますか。	4 3 2 1
2	学校は、保護者や地域の意見等を聞く機会を多く設けていますか。	4 3 2 1
3	学校は、子どもたちの教育活動の様子などをよく知らせていますか。	4 3 2 1
4	子どもは、毎日喜んで学校に登校していますか。	4 3 2 1
5	子どもたちは、家庭や地域でよくあいさつをしますか。	4 3 2 1
6	子どもたちは、素直に注意を聞きますか。	4 3 2 1
7	子どもは、授業が楽しいと言っていますか。	4 3 2 1
8	通知表は、子どもの学習等の状況を分かりやすく伝えてありますか。	4 3 2 1
9	先生は、子どもをよく理解していますか。	4 3 2 1
10	先生は、子どものことについての相談に適切に応じていますか。	4 3 2 1

ご意見やご要望等がありましたら、お書きください。

地域住民等用

本校の児童の様子や学校の教育活動などについて、4段階で評価をお願いします。
下記の評価項目について、当てはまる番号にしてください。
4（よい） 3（ややよい） 2（やや不十分） 1（不十分）

番号	評価項目	評価
1	学校は、教育方針を分かりやすく伝えてありますか。	4 3 2 1
2	学校は、地域の意見等を聞く機会を多く設けていますか。	4 3 2 1
3	学校は、子どもたちの教育活動の様子などをよく知らせていますか。	4 3 2 1
4	学校は、地域の自然、文化、人材などを積極的に活用していますか。	4 3 2 1
5	学校は、施設・設備を地域によく開放していますか。	4 3 2 1
6	学校は、地域の学校教育に対する期待にこたえていますか。	4 3 2 1
7	子どもたちは、地域でよくあいさつをしますか。	4 3 2 1
8	子どもたちは、交通ルールなどのきまりを守っていますか。	4 3 2 1
9	子どもたちは、素直に注意を聞きますか。	4 3 2 1
10	教職員は、地域の状況を知る努力をしていますか。	4 3 2 1

ご意見やご要望等がありましたら、お書きください。

学校の自己点検・自己評価を進めていくと、内部評価と外部評価のズレが生じる場合がある。このような場合は、ズレが生じた原因について分析し、内部評価を見直すことになる。その結果、課題がより明確になるとともに、評価の客観性や妥当性が一層高まり、学校運営の改善のポイントが見いだせるようになる。

以上、外部評価を取り入れた自己点検・自己評価を進め方について述べてきた。今後、各学校においては、学校の自律性・自主性をより一層高めるためにも、内部評価の充実も含めて、積極的に自己点検・自己評価を進める必要がある。

【引用・参考文献】

文部科学省『小学校設置基準及び中学校設置基準の制定等について（通知）』平成14年3月

教育課程審議会答申『児童生徒の学習と教育課程の実施状況の評価の在り方について』平成12年12月
（教育課程の実施に関する研究委員会）